

Vol.

6

SUMMER

Heartful 2002.8

はあとふる

地域の皆さまに、心(Heart)と技術(Hands)でヘルスケアサービスを提供するためのコミュニケーション誌



島田病院

総合リハビリテーション施設認可

急性期、回復期、維持期と
切れ目なく提供できる
リハビリテーション

チーム運営による良質のヘルスケア

八尾はあとふる病院の在宅サービス



はあとふるグループ

医療法人(財団) 永広会
社会福祉法人 はあとふる

急性期、回復期、維持期と切れ目なく提供できるリハビリテーションを！



島田病院 診療技術部長
畑 耕治 (はた こうじ)

はあとふるグループでは、リハビリテーションのサービス内容の充実とともに、施設整備にも重点を置いています。島田病院は今年6月に急性期、回復期を担う『総合リハビリテーション施設』基準を取得し、理学療法、作業療法、言語聴覚療法のサービスを提供しています。

介護保険における維持期のリハビリテーションとしては介護老人保健施設悠々亭、訪問看護ステーションハートパークはびきのなどがあります。

八尾はあとふる病院では医療・介護保険両方の機能を持ち、回復期から維持期のサービスを提供しています。

このようにはあとふるグループ内で急性期、回復期、維持期の機能を持ち、連携を進めています。決して万全のものではありません。

はあとふるグループが担っていることは医療・介護の一部な

ので対応困難な疾患、事例もあり、グループ以外の施設との連携をはかる必要があります。

島田病院は平成12年に大阪府より、南河内圏域の地域リハビリテーション支援センターの指定を受け、地域の保健所とともに地域リハビリテーション推進事業に取り組み、南河内圏域内において急性期、回復期、維持期のリハビリテーションを切れ目なく提供できるよう連携をはかっています。しかし地域内の各施設の機能は徐々に明確にされてきてはいるものの、連携は不十分でその機能は分断され、決して利用者にとって良いサービスとはいえないでしょう。

医療制度が大きく変化していく中で、誰にとっての医療であるか、制度であるかを考え、地域に求められるサービスを提供していきたい…まずは今後、各施設の機能・役割が大きく変化していくことを、利用者や医療従事者の方々に理解していただければと、考えています。

リハビリテーション科 第1訓練室

(アスレチック・リハビリテーション)



島田病院 リハビリテーション科 第1訓練室リーダー
愛洲 純 (あいす じゅん)

島田病院地下1階にある「リハビリテーション科 第1訓練室」は、理学療法士10名が、子供からお年寄りまでを対象として、受傷や手術から復帰(日常生活や職場)までをお手伝いさせて頂いています。

アスレチック・リハビリテーションを基本としており、一般的なリハビリテーションが目的としている日常生活の自立を含め「競技復帰までが可能となる身体条件を獲得する」ことを目的にしています。患者さまの多くはスポーツ疾患を含めた整形疾患(骨折や靭帯損傷、腰痛、五十肩など)です。患者さまの「治そう!」という意欲のもと、自主的な訓練(運動療法)を基本とし、担当理学療法士は患者さまの状態を把握した上で、医師や患者さまと相談しながら医学的根拠に基づいた訓練プログラムを設定し、その後状態をみながら調整します。また、理学療法士の役割として、目標とする職場やスポーツへの復帰までで訓練を終わりにするのではなく、復帰後の症状の再発を予防する訓練にも取り組んでいます。

私達、理学療法士は医師との連携のもと、十分患者さまの話を伺った上で、できる限り目標や希望に沿ったリハビリテーションを

日常生活復帰はもちろん、
スポーツ復帰までサポート。



心掛けており、それが患者さまそれぞれのQuality of Life(人生の質)の向上につながると思っています。医学的にみてリスクの高い試合への出場も、「危険性」を理解していただき、テーピングや装具の使用、試合参加内容の制限をつけて、出場を可能にする場合もあります。早期の職場復帰などを目標に、手術の時期・内

容の考慮や手術後の固定期間を短縮するなど、より「患者さま本位のリハビリテーション」を心がけています。

その他、スポーツ競技別担当の理学療法士を決め、競技特性を踏まえて専門的な対応もします。スポーツ復帰判定の目安としてフットワークの技術や筋力テストを含めた体力測定データの蓄積、主要疾患のデータの蓄積などがあります。これらは、できるだけ多くの患者さまが安全で、確実に、しかも早期に、目標とするスポーツや職場などへ復帰して頂く為に非常に重要なこととなります。また、スポーツ選手や指導者を対象とし、定期的にミニスポーツセミナーやスポーツ選手・指導者交流会を開催しています。

スタッフの診療技術や指導内容、その他の活動に満足することなく、さらなる精度の向上と、スポーツ選手や指導者への働きかけに力をかけていきたいと考えていますので、今後ともよろしくお願いたします。



第1訓練室スタッフ 上段左から 山本博之、西上智彦、溝口大五、羽戸 孝、中井さとみ、下段左から 丸山良子、愛洲 純、八坂真妃、木村典代 (浅岡良信※退職)

リハビリテーション科 第2訓練室

(ご高齢の方のリハビリテーション)



私たちは、「その人がどうすればその人らしく生活を送れるのか?」また「患者さまの生活

島田病院 リハビリテーション科
第2訓練室リーダー
北宅 昌夫 (きたや まさお)

をどのように取り戻していくか?」を考えています。入院期間を出来るだけ短くするため早期のリハビリに積極的に取り組み、少しでも早く患者さまが、もとの生活に戻れるようにと考えています。入院患者さまには、手術後すぐにリハビリが始まることに驚かれることがあるほどです。

人工膝関節や、人工股関節の手術を受けられた患者さまが多く、人工関節の手術後のリハビリに力を入れています。入院期間の目標を1ヶ月と設定し、退院時には一本杖での歩行ができるようになるまで…としています。

その他に脳梗塞の患者さまのリハビリ目的入院、脊髄小脳変性症の患者さまの教育入院など、いろいろなサービスを提供させて頂いています。リハビリを受けられる患者さまに、少しでも苦痛を和らげられるようにと、明るく開放的な、訓練室にしています。



言語療法、作業療法、理学療法の、
各専門スタッフがサポート。



第2訓練室スタッフ 上段左から 元石光裕、北宅昌夫、中尾敬伸、澤田光一、下段左から 吉田和代、高島未令、阪口良子、南部香織、反 昌代、森 ユミカ (石田 希※退職)

スタッフは、理学療法士6名・作業療法士4名・言語聴覚士1名・受付スタッフ2名です。みんなそれぞれの専門分野を活かしながら、チーム医療に取り組み、どのようにすれば患者さまの苦痛が軽減できるのか、話し合いながら治療・訓練を行っています。

対象疾患は、脳血管障害(脳梗塞や、その他の脳の障害)、変形性股関節症、変形性膝関節症、リュウマチ、整形疾患(特に高齢者)…などです。

その他お困りの病気や障害があれば、島田病院リハビリテーション科までお気軽にご相談ください。

チーム運営による 良質のヘルスケアを。

はあとふるグループでは、会議、委員会、カンファレンス、プロジェクト等が、有効に運営され、より質の高い成果を創出していくために「チーム運営」について学びました。共に支え合い、共通の目的を達成していくチーム運営で、職員ひとり一人が役割をもち、自律した組織づくりを目指しています。



良質のヘルスケアを
提供できるチーム運営

はあとふるグループの使命を達成するために
多職種メンバーが共に支え合うチーム運営

- 専門分野の知識があり発言ができる
- 固定観念にとらわれず斬新なアイデアが出せる
- 広範囲の知識と経験の基盤ができる
- チームメンバーがプロセスを知っている
- 仕事に対する満足度アップにつながる
- 仲間と共に解決案を検討評価できる
- 変化を実現できる
- チームメンバーは役割・責任があることを自覚できる

Link Nurse System

島田病院の院内感染防止への取り組み⑤ リンクナースシステムの 具体的方法

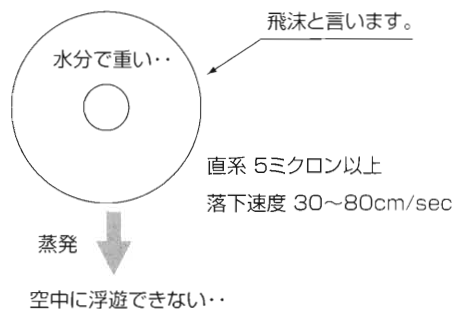
感染管理担当 森下 幸子

ひ まつ かん せん けい ろ

飛沫感染経路について

飛沫感染経路とは、咳やくしゃみ、会話のとき空気中に散らばったばい菌を別の方が吸い込み感染症を発生する経路です。ただしこの飛沫は、5ミクロン以上の大きさなので、空中に浮遊し続ける事はできません。空気感染とは違って、短い距離しか広がることができないのです。

インフルエンザや風疹、おたふく風邪が代表的な飛沫感染経路です。当院のガイドラインでは、患者さまも職員も、風邪かな？インフルエンザかも？と思ったときには、青いフィルターの付いたマスクを付ける事にしています。紙のマスクや布のマスクでは、院内感染の対策にはならないと



しています。

そして、何より大切な予防策はインフルエンザや風邪にならないこと...インフルエンザのワクチンを患者さまも職員も打つことで予防できますし、冬が近づけば「うがい」「手洗い」「乾燥を避ける」「栄養」「睡眠」を心がけることが飛沫感染経路予防策の第1歩です。

チーム運営によるヘルスケア 1

今回は、介護老人保健施設 悠々亭の2チームをご紹介します。

生活リハビリチーム

利用者のできることを増やそうチーム

『できることふやそう!』に取り組んでいます。

悠々亭では、ご利用者さまが少しでも元気になって頂けるように生活リハビリチームを発足させ、3年目となります。

発足当初より現在に至るまで、継続して取り組んでいることが、ご利用者さまが「1つでも出来ることを増やそう」です。年を重ねるにつれ、日常生活の中でごく自然に行われていることでも、機能低下等のさまざまな要因により出来なくなることが増えてきます。それが原因で、自



信を失ったり、生活意欲まで削ぎとられてしまいます。誰にも頼られなくなった『寂しさ』、何もすることのない『退屈』な日常生活……みなさん想像してみてください。

そこで、生活の中で役割を持っていたことで、生きがいを見つけていただければと願い、さまざまな生活リハビリの取り組みをしています。生活リハビリとは、決められた時間・場所で機能アップをする訓練ではなく、日常生活の中で繰り返しおこなわれる動作そのものが、「リハビリ」になることを目的とします。例えば、「洗濯干し」の時、頭の上に衣類を干そうとすれば、自然に腕も上がります。それにより、肩・肘・手などの関節が硬くなることを防ぐリハビリとなります。その他、歩行訓練・気分転換を兼ね備えた『夕刊取り』

介護老人保健施設 悠々亭のチーム

- 施設運営会議
- 四半期担当者報告会
- ケアサービス会議
- 判定会議
- リーダー会議
- 入所会議
- 通所会議
- 抑制廃止委員会
- 給食会議
- 配食会議
- 教育実習指導チーム
- 利用者のできることを増やそうチーム
- システム見直しチーム
- 広報・地域交流企画チーム
- 住み良い環境提供チーム

など、ここでは紹介できないほど多くありアイデアも未知数です。現在は、1ヶ月の『生活リハビリ』目標を利用者の方との話し合いにより決定し、目標を達成された方には、表彰状を贈らせて頂いています。それを楽しみに頑張ってくださいの方が徐々に増え、職員のやりがいにつながっています。これからも、創意工夫を重ね、アイデアを出し合いながら取り組んでいきたいと思っています。

利用者のできることを増やそうチーム
リーダー 今井 康 順

教育実習指導チーム

悠々亭のワッペン隊 ことば遣い、 マナー向上のために。

いつも悠々亭をご利用頂きありがとうございます。

ご利用者さま・ご家族さまは、このマークに見覚えはないでしょうか？今年の4月より、昔なつかし【ニコチャン】マークを左腕につけた職員がいることに気が付かれた方もいらっしゃると思います。



開設当初よりことば遣いが悪い・あいさつができていない等のご指摘を多く受けてまいりました。平成11年より施設の中で『教育実習指導チーム』を発足させ、介護の技術や知識の向上に努めてきました。その中で、ことば遣いなどの勉強会の開催や、外部のマナー研修へ参加するなど、ご利用者さまへのことば遣い・マナーの向上に色々取り組んでいます。現在あまり改善が見られません。

普段の職員同士の何気ない会話が、来客の方々を不愉快にしたり、ご利用者さまと親しみ過ぎて、友達や子どもに話すような言葉になっていたりします。そこで、まずは自分達が他の方々から『見られる』ことで意識の改善に取り組もうと考えま



した。(壁に耳あり障子に目あり)ワッペンを付ける事で、自分を見て、評価していただき、できていないところを改善していこうと考えています。

悠々亭には、事務職をはじめケアワーカーまで多職種が混在しています。その全職員が1年を通し3ヶ月単位で入れ替わり、ワッペンをつけます。3ヶ月に一度ワッペン隊に対してのアンケート調査を行い多くのご指摘を頂きたいと考えています。その時にご協力をお願いします。

また、その都度気になる事がありましたら『さくぞう君』ボックスにご意見を願いたいします。皆さまにより親しまれる施設を目指してこれからも取り組んでまいります。

ケアサービス部
マネージャー 阪村 智美

八尾はあとふる病院は 在宅療養を応援します。



通所リハビリテーション

八尾はあとふる病院
通所リハビリテーション専任理学療法士 三井田 句美子



今年4月からスタートした通所リハビリテーションは、1日定員20名のところ、7月現在で、1日あたり13名さまのご利用をいただけるようになってまいりました。今秋には、定員を40名に拡大し、より多くの皆さまにご利用いただける体制を整える予定です。今、私はご利用いただく皆さまが楽

しみながら行えるリハビリメニューを一生懸命考えさせていただいております。これからご利用いただく方、また現在ご利用いただいている皆さまからのご意見を大切に、頑張ってまいりますので、今後ともよろしくお祈りいたします。

訪問診療

八尾はあとふる病院 内科 原田 直樹 医師

今年の3月まで島田病院に常勤医として、続いて4月から八尾はあとふる病院で勤務しています。平成4年に兵庫医科大学を卒業し、今年で11年目になります。見た目は、若く見られがちですが、昭和38年生まれの39歳です。趣味は空手で、1年前から6歳の息子と習っています。

さて、この度、訪問診療の部門を担当することになりました。訪問診療は、通院ができない方に対して、ご自宅での医療を提供するものです。病院の各職種との連携をとりながら、よりよい在宅医療サービスを提供するよう頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



居宅介護支援事業 (介護サービスセンターはあとふる)



介護保険のサービスについてのご説明や、実際のご利用になりたいサービスプランのご相談などをお聞きし、ご本人やご家族さまの希望に沿ったサービス計画をご提供します。

スタッフ紹介(ケアマネージャー)

尾本 幸一

「いつでも、どこでも、いつまでも」をモットーに利用者の方々に親近感のある存在になれればと思っています。

林 恵美子

「はやい、やすい、うまい」をモットーに、地域の方々のライフサポーターとしての存在になりたいと思っています。

岩城 一栄

「利用者さまにいつも笑顔で」をモットーに、信頼感のある存在になれるよう励みたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

島田病院

新任医師紹介

島田病院 麻酔科 医長 河崎 収 医師

治療の必要上、手術を受けなければならない患者さんにとって最大の不安は痛みかもしれません。手術後の痛みやストレスをできる限り軽減できるようにするにはどうすればいいのか…と考えながら麻酔をしています。趣味:食べ歩き、コンピューター、スキー
家庭:時々忘れず。妻一人と一男一女の父親です。

島田病院 整形外科 森 英隆 医師

5月から整形外科で勤務しています。スポーツ整形や手足、鎖骨などの骨折、靭帯損傷を専門にしています。趣味はゴルフ、釣り、野球。3人の男の子のパパです。

はじめまして。



向って左から、森医師と河崎医師

きくぞう君への投書から



ご意見

医師が患者のいうことを2回も無視した。自分は知っているが、患者は分からない。人を小バカにして何が医長だ。ケガを治しにきたのに、心にキズをつけられた。不満で一杯だ。それでも患者は医師に逆らえない。
(52歳 男性 ※原文のまま)

『きくぞう君』はご利用者の声を業務の向上、施設改善に反映させるためのシステムです。ご意見・ご質問など、お気軽にお寄せください。

きくぞう君の投書箱は現在、島田病院内科前、整形外科前、2階・4階病棟、手術室待合、悠々亭受付前の計6カ所に設置されています。

回答

島田病院
整形外科 医長 金 国 一

『患者さんの訴えをよく聞き、病状について十分説明し、納得いくまで治療方法について相談する。』というのが当院の姿勢で、それに反する行為があったと指摘されたのですから反省至極です。どうも申し訳ありませんでした。どういった内容のことを無視したのか、はっきりとは覚えていませんが、私

が病状について説明している途中で、お話をされたため、それをさえぎって説明の続きをしたのは、覚えています。説明の内容が途中で切られてしまうと、また一から説明し直さなければならないため、止むを得ず患者さんの言葉を無視した形になったのかもしれませんが、私の説明や態度に納得がいかない場合は、

どうか納得するまでご相談ください。「患者は、医師に逆らえない」のではなく、「医師は、患者さんが納得するまで説明する義務がある。」のですから。まだまだ、反省する点が多くあると思います。これからもご指摘をお願いいたします。

外来診察時の医師の患者さまへの対応について、貴重なご意見をいただきました。

患者さまが気分を害された事実は、サービス業として“負けの対応であった”と、個人としてだけでなく、組織の問題として真摯に受け止めました。時間の限られた外来診察で、全ての患者さまに満足していただける対応を心がけていますが、できていない場合もあります。今後そのような場合は、近くにいる医療スタッフでフォローできるシステムや、総合案内の設置など検討中です。また、島田病院では“宣言書”を掲示しております。これは私たちが心がけたいと考え目指していることです。



よりよい医療を受けていただくために

私達が努力すること

(島田病院宣言書)

私たち、島田病院の職員は、当院をご利用いただく患者様およびご家族に対して次のように接するよう心がけております。

1. お一人おひとりの患者様を、個別に、敬意を持ってお引き受けいたします。
2. 検査、診断名、治療内容などについて、資料をできるだけ用いて、分かりやすい説明を心がけます。
3. 患者様からのどのようなご質問にも、喜んでお答えいたします。
4. 私たちはプロとして最善と考えられる方法をご助言し、患者様ご本人の同意の上で実行いたします。
5. 入・退院や手術、およびリハビリテーションの必要性やその時期など、治療計画をできるだけ一緒に相談し、お作りいたします。
6. 最終的な治療方針の決定は、患者様のご納得のいく選択や決断を優先いたします。
7. 良質の医療サービスを、常に、必要な時に、適切に、提供できるよう最大限の努力をいたします。
8. 必要や希望があれば、もっとも適切な他の医療機関へ、すぐ紹介いたします。
9. 私どもが治療上知りえた個人のプライバシーは、必ず保持いたします。
10. サービスの不十分な点を自覚し、改善の努力を怠りません。
11. 皆様から、私どもにご指摘いただきました事項は公表し、改善の方針を明示いたします。

ご不審な点、ご不満な点など何なりとお気軽にお申しつけ下さい。
平成9年4月1日
職員一同

患者さまへのお願い

ささえあい医療人権センターCOML(コムル)が「医者にかかる10箇条」という冊子を発行しています。

(医者にかかる10箇条)

あなたが"いのちの主人公・からだの責任者"

1. 伝えたいことはメモして準備
2. 対話の始まりはあいさつから
3. よりよい関係づくりはあなたにも責任が
4. 自覚症状と病歴はあなたの伝える大切な情報
5. これからの見通しを聞きましよう
6. その後の変化も伝える努力を
7. 大事なことはメモをとって確認
8. 納得できないときは何でも質問を
9. 医療にも不確実なことや限界がある
10. 治療方法を決めるのはあなたです

※COML=NPO法人(市民団体)



はあとto ハート

インフォメーション

<使命>

良質のヘルスケアを
効率よく地域の人々に
提供し続けます

<職員憲章>

私たちは、その人が
その人らしく自分の人生を全うすることを
心(Heart)と技術(Hands)で支援します

はあとふるグループは、個人の価値観を尊重し、
その人の「自立」や「その人らしく生きること」を支援するヘルスケアサービスを提供します。

ミニスポーツセミナー

主催/島田病院

●●●● 開催スケジュール ●●●●

1 ウェイトコントロール

平成14年8月22日(木)午後6時30分～
担当/島田病院 管理栄養士 木村

2 腰痛予防と治療

平成14年10月19日(土)午後4時～
担当/島田病院 理学療法士 山本

3 テーピング

平成14年12月19日(木)午後6時30分～
担当/島田病院 理学療法士 羽戸

4 シューズ選びのポイント

平成15年2月15日(土)午後4時～
担当/未定

お問い合わせは— ☎0729-37-1511

年に一度は身体の点検を!

島田病院より健康診断のすすめ

市健診 (予約制・40才以上無料)

島田病院は、羽曳野市と藤井寺市の委託医療機関です
受付は、羽曳野市11月末まで、藤井寺市10月末まで
同時に、一部の対象者にC型肝炎検査も実施します(諸条件あり)

国保ドック

羽曳野市の方で国民保険のご加入者には、
総額の約3割の負担で受診できる「国保ドック」がおすすめです!

ご予約・お問い合わせは— ☎0729-53-1001

家族介護者教室

主催/在宅介護支援センター悠々亭

●●●● 開催スケジュール ●●●●

1 夏に向けての 脱水・日射病対策

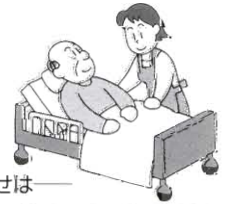
平成14年7月23日(火)
午後2時～3時
担当/ハートパークはびきの
訪問看護師 杉田

2 親子介護者教室

平成14年8月11日(日)
午前10時～12時
担当/介護老人保健施設 悠々亭
介護福祉士 阪村

3 誰でも出来る カロリーコントロール

平成14年9月27日(金)
午後2時～3時
担当/介護老人保健施設 悠々亭
管理栄養士 小山



お問い合わせは—
☎0729-53-1003

地域リハビリテーション講習会

主催/島田病院(南河内圏域地域リハビリテーション支援センター)

●●●● 開催スケジュール ●●●●

1 「変形性股関節症について」

平成14年8月31日(土)午後3時～4時30分
島田病院 理学療法士 北宅

2 「言語療法について」

平成14年11月 詳細未定

3 「脳卒中のリハビリテーション」

平成15年2月 詳細未定

お問い合わせは— ☎0729-53-1001

島田病院名誉院長で医療法人永広会の創設者 島田永広氏が
平成14年7月15日に永眠いたしました。
7月17日に法人葬を執り行いましたことをご報告いたします
生前のご厚誼を深謝し謹んでご通知申し上げます。



はあとふるグループ

医療法人(財団)永広会

島田病院 Tel.0729-53-1001
はびきの健康プラザ ウエルネス Tel.0729-37-1511
介護老人保健施設 悠々亭 Tel.0729-53-1002
在宅介護支援センター 悠々亭 Tel.0729-53-1003
ヘルパーステーション 悠々亭 Tel.0729-53-1052
介護サービスセンター ゆうゆう亭 Tel.0729-53-5514
訪問看護ステーション ハートパークはびきの Tel.0729-53-1004
〒583-0875 大阪府羽曳野市榎山100-1

八尾はあとふる病院 Tel.0729-99-0725
介護サービスセンター はあとふる Tel.0729-99-8126
〒581-0818 大阪府八尾市美園町2-18-1

社会福祉法人 はあとふる

高齢者生活福祉センター ゆうゆうハウス Tel.0729-31-1616
〒583-0875 大阪府羽曳野市榎山96-10